

第一交通産業、EV モーターズ・ジャパンの 電気バスを導入し、今春より運行開始！ 本格的に協業体制の構築へ。



第一交通産業株式会社
株式会社 EV モーターズ・ジャパン

第一交通産業株式会社（本社：北九州市、代表取締役社長：田中亮一郎、以下「第一交通産業」）は、株式会社 EV モーターズ・ジャパン（本社：北九州市、代表取締役社長：佐藤裕之、以下「EVMJ」）製の電気コミュニティバスの導入を決定し、今春 4 月より、沖縄県内にて路線バスとして運行を開始いたします。

運行するのは、第一交通産業の子会社で、沖縄県豊見城市に本拠を置く「那覇バス株式会社」。

まずは 2 台での運行開始となりますが、順次、導入台数を増やし、沖縄地区にある第一交通産業グループの整備工場を EV 対応型に整備し、沖縄地区の EV 促進を図ります。



さらに、第一交通産業と EVMJ は協力体制を整え、バス・タクシーなどの公共交通機関の EV 化を全国対象に拡げて参ります。また、EV 促進第二弾として、乗合タクシー車両の EV 化をまずは、北九州市内中心に進めていく計画です。

また、EVMJ は、北九州市内に組立工場の建設計画をしており、国内の商用 EV 拡充の一手を更に担います。

車両は、EVMJ 独自技術で開発されたインバータを搭載しており、このインバータは、μセック単位でモータ制御可能です。この制御機能により、バッテリーのピーク発生を抑えることができ、電費効率を高めることで、一充電あたりの航続距離を飛躍的に延ばしました。また、バッテリーのピークを出さない事で、バッテリーの劣化を抑え、長寿命化を実現いたしました。

EV にとって課題であった車体重量にも重点を置き、「軽量化」に特化しております。

ボデーには「C-FRP」を採用し、鉄より丈夫でアルミより軽い特性を活かしました。FRP の採用により、同サイズ EV バスと比べ、4~500 キロもの軽量化に成功しました。

【F8 series4-mini BUS 諸元表】

項目	仕様
サイズ (全長×全幅×全高)	6,990mm×2,100mm×3,020mm
車両重量	5,750kg
車両総重量	7,900kg
最低地上高	150mm (ニーディング時)
最高速度	80km/h
航続距離	230km
バッテリー	リチウムイオン

会社名	株式会社 EV モーターズ・ジャパン	http://www.evm-j.com/
設立	2019年4月	
代表者	代表取締役 兼 最高技術責任者 佐藤裕之	
資本金等	209,200,000 円 (2021年12月1日現在)	
所在地	福岡県北九州市若松区白山 1-18-7	
事業内容	商用電気自動車、商用 CHAdeMO II の開発、製造および販売・リユースバッテリー・ソーラー発電事業・ESS 他	

【本件に関する問い合わせ先】

第一交通産業株式会社 交通事業部 ネットワーク推進課 (古賀)

TEL: 093-511-8850

株式会社 EV モーターズ・ジャパン 営業部 (田崎)

TEL: 093-752-2477